

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社福岡銀行
所在地	福岡市中央区天神 2 丁目 1 3 - 1
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	金融業、保険業
電話番号	092-723-2561
ホームページ	—

Well-being 向上 に向けた取組み	●テレワーク、フレックスタイム、時差出勤、裁量労働等の各種制度を導入し、業務内容に応じて選択できる柔軟な勤務形態を整備。 ●産前産後休暇、育児休業、男性育児休業の取得推進、育児のための短時間勤務制度、企業内保育所の利用、育児サービス利用料補助、両立支援相談窓口、復職支援プログラム等の FFG 両立支援制度を導入し、仕事と生活のバランスをとりながらキャリアを積み、更に活躍することを応援している。		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: 株式会社福岡銀行

カテゴリ	チェック項目	3側面該当		具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																	
		環境	社会		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○	・人事部にDE&I推進室を設置し、全ての従業員が能力を最大限に発揮できる環境を整備。 ・障がい者を採用し、特性や経験が活かせる職場環境を整備。 ・行員向けLGBTQセミナーや介護セミナーを定期的開催。						○			○	○								
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○	・テレワーク、フレックスタイム、時差出勤、裁量労働等の各種制度を導入し、業務内容に応じて選択できる柔軟な勤務形態を整備。 ・FFG両立支援制度を導入し、仕事と生活のバランスをとりながらキャリアを積み、更に活躍することを応援。						○			○	○								
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○	・ハラスメント防止規定を整備し、社内に周知。 ・ハラスメントに対する相談窓口を設置。 ・人権問題やハラスメントについての社内研修を実施。 ・FFGの人権に関する取組方針を「人権方針」として定め、社内外に宣言。						○			○	○						○		
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○	・最終退社目標時刻の設定や、早帰り日、早帰り週間設定により長時間労働を抑制。 ・パソコンのログにより労働時間を正確に把握。 ・定期的に健康診断やストレスチェックを実施し、必要に応じて産業医が面談。 ・福岡銀行健康宣言を制定。人間ドック費用補助など、各種検診制度の利用率向上を図る。						○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○	・業務別、階層別に研修を実施。 ・ライセンス取得奨励金や外部スクール費用補助金を支給。 ・1on1ミーティングを実施し、各人の成長を支援。 ・大学生、大学院生、専門学校生向けに銀行部門とデジタル部門を中心にインターンシップ参加者を募集。							○	○		○	○							
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	・環境方針を制定し、環境への負荷軽減に努めている。 ・紙資源、空き缶、ペットボトル等、再資源化可能な廃棄物の分別を徹底。 ・発刊物には、環境に配慮した用紙とインクを使用している。					○			○				○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	・「自社CO2排出量削減目標」を設定し、2030年度までにCO2排出量ネットゼロを実現を目指している。 ・クール/ウォームビズに代わり「ビジネスカジュアル」の導入を実施。 ・店舗建替時の環境配慮型店舗へのシフトや高効率空調への切替、LED照明の採用等の省エネ施策を実施。 ・営業車両にエコカーを導入。												○	○					
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	・本社ビル、各営業店周辺の清掃活動に取り組んでいる。 ・植樹活動等実施し、天然資源の保護に取り組んでいる。								○							○	○	○	
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○		・節水型トイレを導入。 ・多くの店舗に自動手洗水栓を設置し節水に努めている。							○											
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○	・九州大学と共同し、企業のSDGsの取組を指標化する。 ・グループ会社/サステナブルスケール社を設立し、SDGs/ESG評価ツール Sustainable Scale Indexを共同開発。 ・x-tech match up(オンライン商談会)を開催し、地域企業のマッチングを実施。					○										○			
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	・九州大学とSDGs/ESGスコアリングツール Sustainable Scale Indexを共同開発。 ・デジタル化支援コンサルティングを実施。 ・LGBTIに対応した住宅ローンを取扱い。 ・企業の温室効果ガス排出量の測定ができるサービスを提供。 ・ポジティブインパクトファイナンス取扱い。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○		・個人情報の保護に関する方針等を示した「個人情報保護宣言」を制定し公表。 ・個人情報、顧客情報の適切な取扱いに関して各職場におけるチェックを実施し、管理態勢の充実・強化に取り組んでいる。																	○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○		・コンプライアンスに関する基本的な価値観、精神、行動基準を示した「コンプライアンス憲章」ならびに倫理規程、社内ルールおよび法令等を集大成した「コンプライアンス・マニュアル」を制定。 ・事業年度ごとに法令等遵守に係る重点課題や活動計画である「コンプライアンス・プログラム」を制定。																	○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。		○	・時勢を踏まえた理念体系(価値観・存在意義・創りたい社会)を2025年4月に新たに構築し、明文化している。 ・理念体系の全社浸透に向けて、従業員に対して社長自ら説明・共有するセッションを開催している。											○	○					○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	・緊急時行動マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施。 ・緊急連絡網や緊急時のメール配信体制を整備し、定期的に訓練を実施。													○	○			○	